

純正ミラー交換タイプ/ドライブレコーダー付

デジタルルームミラー 【取扱説明書】

MDR-PRO1

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目 次

■安全上のご注意	1
■使用上のご注意	3
■付属品の確認	6
■取付位置の確認	7
■各部の名称 / 取付時のご注意	8
■取付作業の前に	9
■取り付け前の準備	10
■デジタルルームミラー本体の取付	11
■電源ケーブルの取付	12
■フロントカメラを取り付ける	13
■リアカメラを取り付ける(車内)	14
■リアカメラを取り付ける(車外)	16
■リアカメラ中継ケーブルの引き回し例	18
■取付完了後の確認	19
■microSDカードの挿入・取り出し	20
■電源のON/OFF	21
■初回起動時のセットアップ	22
■ディスプレイ表示	
●画面表示	24
●画面切替	25
●カメラ表示切替	27
●輝度モード切替	27
■各種設定	
●アングル調整	28
●再生について	29
●明るさ	32
●駐車監視	33
●ループ録画	35

目 次

■各種設定

●Gセンサー / イベント録画について 36

●日時設定 / 言語 37

●録音 / フォーマット 38

●設定初期化 / バージョン 39

■パソコンで再生する 40

■よくある質問 41

■ファームウェアについて 42

■製品仕様 43

■メモ 44

■商品保証書 47

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。
表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。



警告

■本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

12V車以外では使用しないでください。

■本機を分解したり、改造しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

■音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。

規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた

場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。

前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

■本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

■機器内部に水や異物を入れないでください。

発煙、発火、感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。

落雷により、感電の危険性があります。

■本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。

■microSDカード挿入口に異物を入れないでください。

火災や感電の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。
取り付けには専門技術が必要です。
 - 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
 - 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
 - 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
 - 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
 - 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
 - microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
 - フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
 - クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれカメラが脱落するおそれがあります。
 - 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
 - microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。
映像や画像が正しく記録されないことがあります。
 - カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
 - 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
 - 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。
変形や変質、破損の原因となります。
 - 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。
キズの原因となります。
 - カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。
乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
 - フロント・リアガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
 - 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがあります。が、カメラの異常ではありません。
- ※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- フロントカメラ映像を表示したまま運転しないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。ロックファイル(衝撃検知)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合は、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
 - 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
 - 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
 - 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
 - 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
 - 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
 - 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
 - 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合
- ※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
 - 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合
- ※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。
- 11.雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合
- ※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。
- 12.衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
 - 13.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

使用上のご注意

- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 故障や本体の使用中によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わざいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、事業の中止、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む)に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わることあります。
- 運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録(上書き)します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 本機以外で記録した映像を見るためには、パソコンおよびSDカードリーダーライターが必要です。必要な機器は、別途ご準備ください。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

【microSDカードについてのご注意】

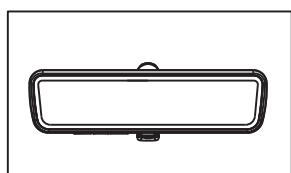
- ご購入時は本機にmicroSDカードが挿入されています。
- microSDカードは消耗品です。(各メーカーにより製品寿命は異なります)ご使用状況により寿命は短くなりますので、定期的に新品に交換することをお勧めします。
下記仕様のmicroSDカードをご利用ください。
記録媒体:microSDHC／microSDXCカード
容量:8～128GB
スピードクラス:Class 10
バスインターフェーススピード:UHS-I, UHS-II
※上記仕様を満たしていてもご利用頂けない場合があります。あらかじめご了承ください。
※容量が256GB以上のmicroSDXCメモリーカードは、本機では使用できません。
※本書では、上記のメモリーカードを「microSDカード」と表記しています。
- 記録媒体の仕様をご確認の上、必要に応じてご準備ください。仕様に合致していても動作しない可能性がありますのでご了承ください。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷等については、弊社は一切の責任を負いません。
- 安心してご利用いただくために、microSDカードは1カ月に1回はフォーマットしてご利用ください。
- 電源をONにした状態や駐車監視モード中にmicroSDカードの抜挿しを行わないでください。
microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。
- microSDカードをフォーマットする際は必ず本機で行ってください。
- パソコンによるmicroSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、microSDカードや本機の故障の原因となります。

【駐車監視についてのご注意】

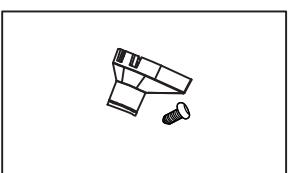
- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。
(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- 駐車監視機能の使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行ってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 長時間録画を行う場合、microSDカードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

付属品の確認

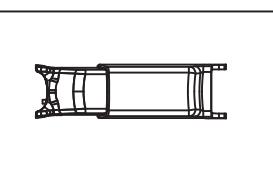
■構成部品



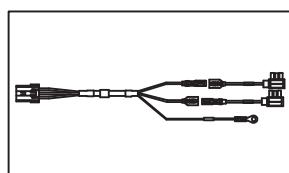
デジタルルームミラー
本体



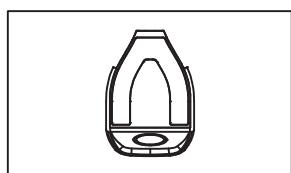
取付ブラケット
固定ねじ



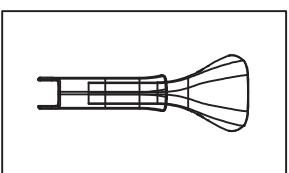
ケーブルカバー
(ミラー用)



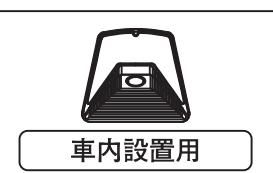
電源ケーブル



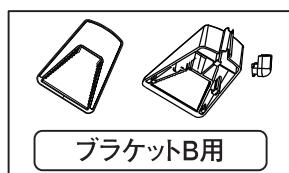
フロントカメラ本体



ケーブルカバー
(カメラ用)



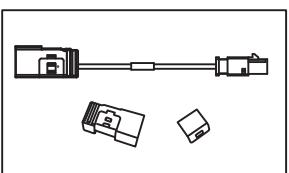
リアカメラ
(ブラケットB装着済)



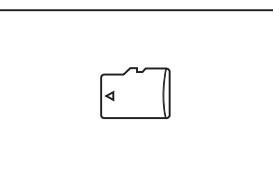
取付ステー
(角度別)



ブラケットA
(リアカメラ専用)



リアカメラ
中継ケーブル

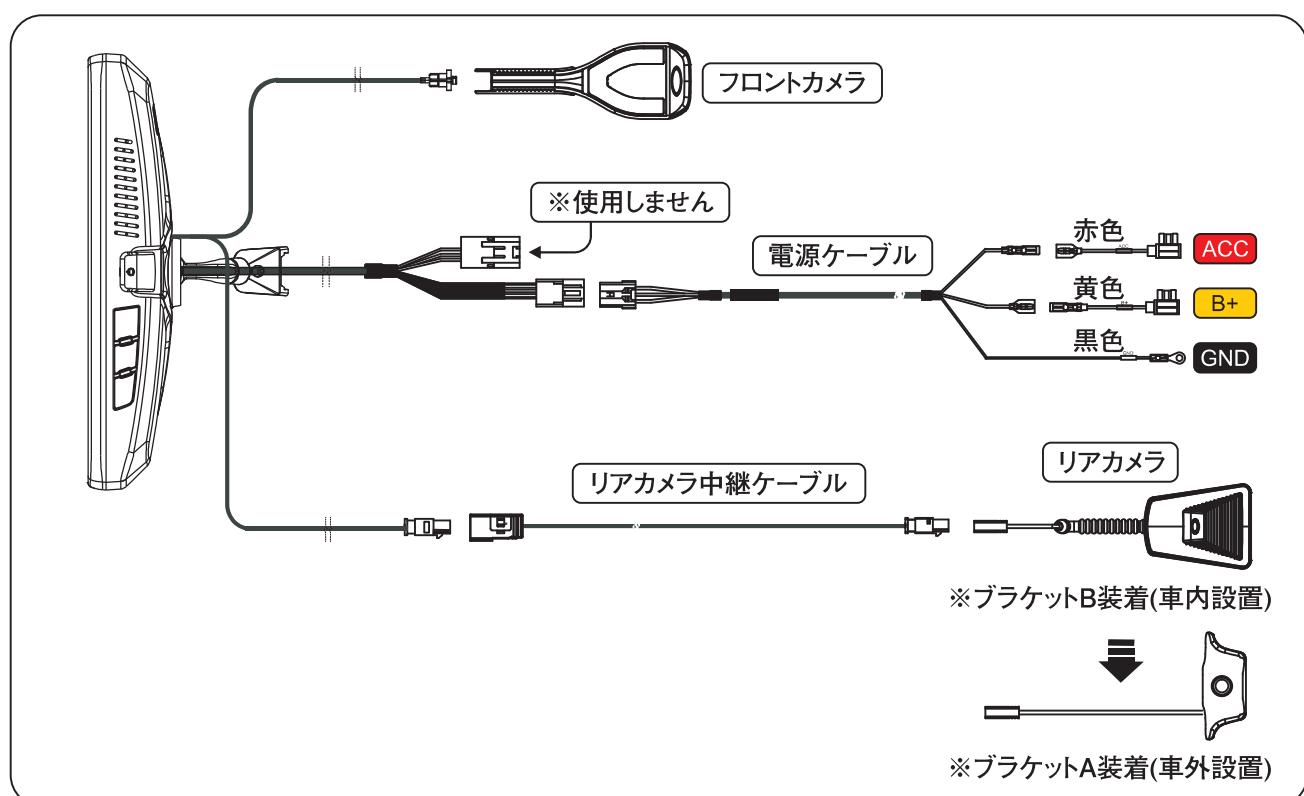


microSDカード
(64GB 1枚)
※本体に挿入
されています。



取扱説明書
(保証書付き)
※本書

■配線図



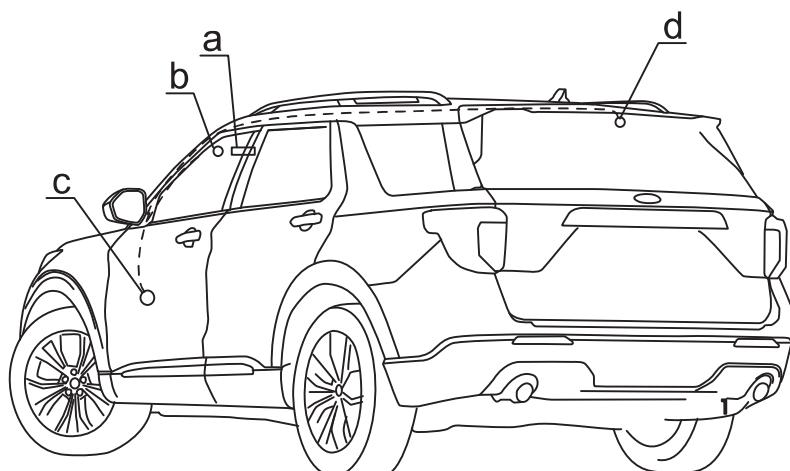
取付位置の確認

本製品の取付位置はお車により異なります。

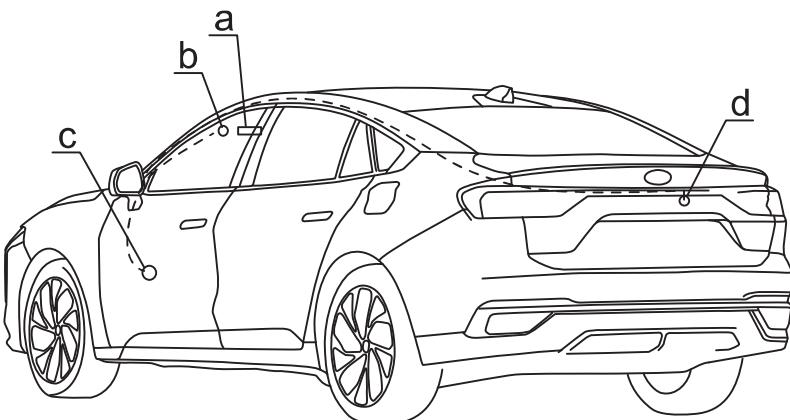
また、リアカメラの取付場所(車内または車外)によって使用部品や取付方法が異なります
作業を始める前には、お使いのお車の取付位置を確認してください。

※必ずケーブルを仮止めし、配線ルートやケーブルの長さなどを十分に検討してください

**取付概要図
(リアカメラ車内設置例)**



**取付概要図
(リアカメラ車外設置例)**



a.純正ルームミラーを取り外し、本機デジタルルームミラーを取り付けます。

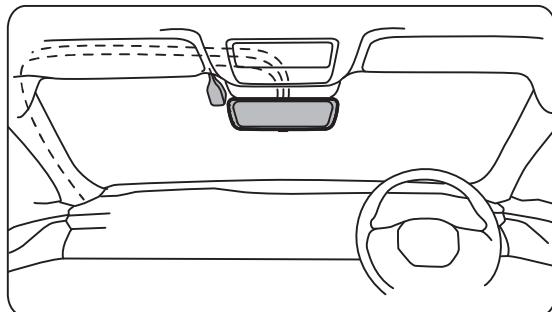
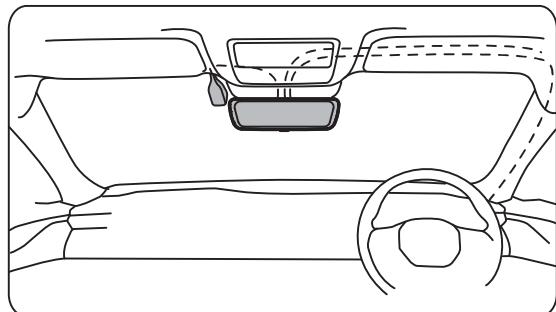
b.フロントウィンドウの内側に、フロントカメラを取り付けます。

c.電源ケーブルの各配線は車両側配線(ヒューズ電源)に接続します。※

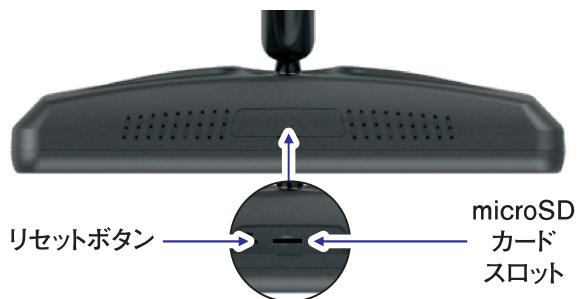
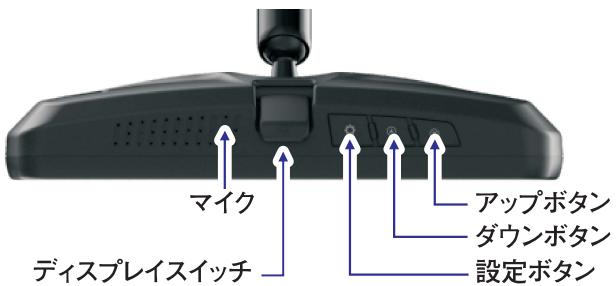
d.リアウィンドウの内側にリアカメラを取り付けます。(車内設置の場合)

d.ナンバープレート上部にリアカメラを取り付けます。(車外設置の場合)

※ヒューズボックスの場所(運転席側面/助手席側面)によって、フロントピラー部の配線方法が
異なります。



各部の名称



注意 感光センサーの誤動作を防ぐため、センサーに触れたりセンサーを覆ったりしないでください。

取付時のご注意

- 安全な場所に駐車して作業をしてください。
- 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
- ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。
車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
- 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
- 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
- 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
- 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取付を行ってください。
- 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
- 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
- 本製品を動作するには定格DC12Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。
複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。
その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
- 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディーと接触するとショートします。
- リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要があるので、ご注意ください。

取付作業の前に

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。
お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー（プラス、マイナス、星形T20）、
10mmレンチ、電動ドリル（8.5mm）、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤー、マスキングテープ、脱脂剤、はさみ、センターポンチまたはマジックペン、保護メガネ、保護手袋が必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。

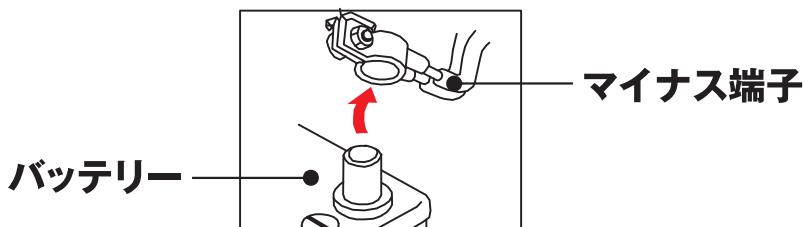
■作業の進め方

- 1.同梱物を確認する
- 2.本取付前に動作確認する
- 3.ミラー本体・カメラを取り付ける
- 4.本体と各ケーブルを接続する

■本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

- 1.バッテリーのマイナス端子を外す。



マイナス端子を 外す際の注意

- 純正カーナビの暗証番号の再入力が必要です。
- カーナビの設定がリセットされます。
- 時計がリセットされます。
- その他、電子機器の再設定が必要です。

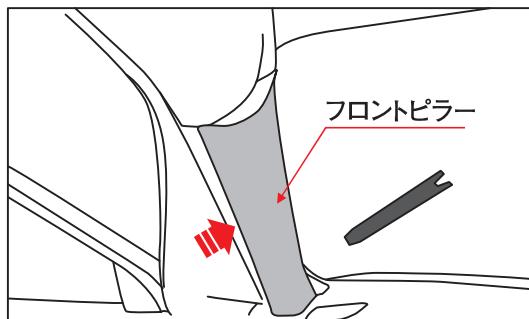
- 2.本体に電源ケーブル、フロントカメラ、リアカメラを接続する。
- 3.電源ケーブルのACC、BATTをヒューズボックスに接続し、マイナス端子を車体のアースに接続する。
- 4.動作確認する（フロント・リアカメラ録画）
- 5.バッテリーのマイナス端子を外し（電源OFFにする）、本取付を行う。

※1.microSDカードはClass10以上、128GBまでのカードをご利用ください。

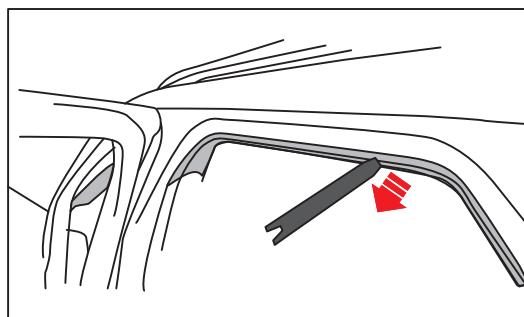
※2.microSDカードは本体でフォーマットを行ってください。

取り付け前の準備

- 取付概要図を参照して、配線側のフロントピラーを取り外します。



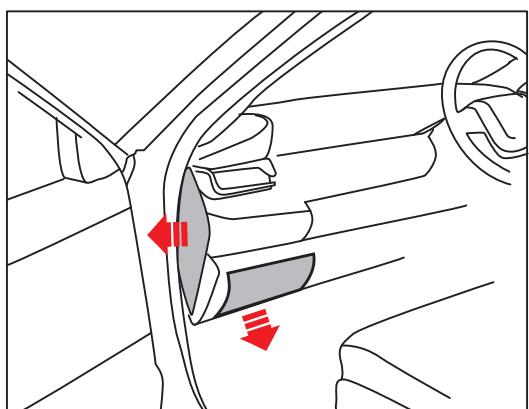
- ドアを開け、ウェザーストリップゴムを引っ張り、配線しやすいように外します。



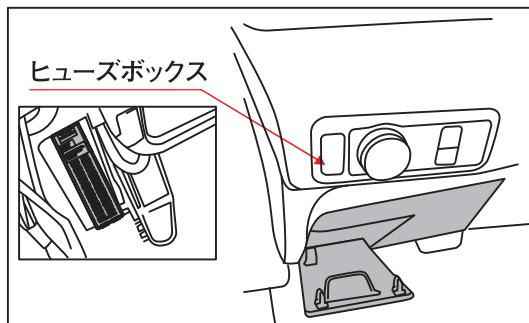
注意

エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。
また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。
必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。

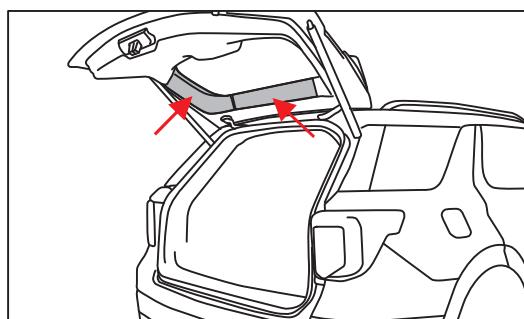
- 取付概要図を参照して、車に応じて配線側のアンダーカバーなどを取り外します。



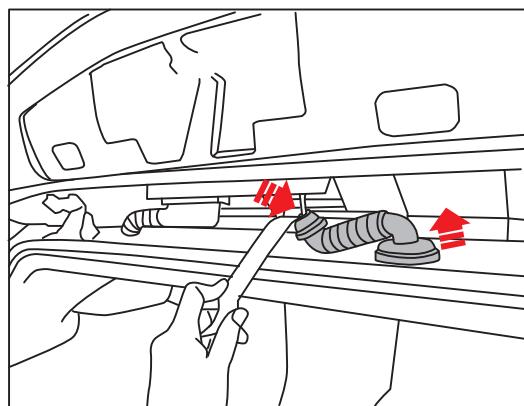
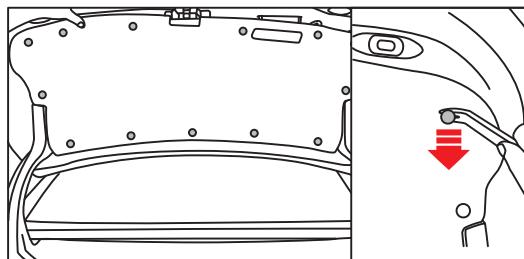
- 車の取扱説明書等でヒューズボックス、アース位置やヒューズの詳細を確認してください。



- 取付概要図を参照して、車に応じてバックドアロアアトリムなどを取り外します。

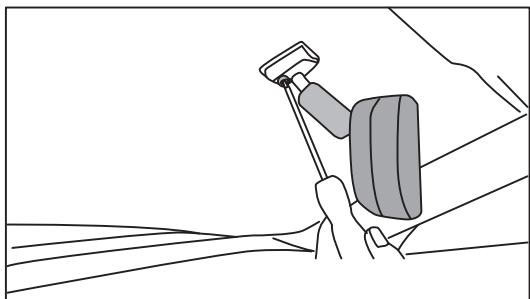


- 取付概要図を参照して、テールゲートライニングや車両グロメット(バックドアがある車)などを取り外します。

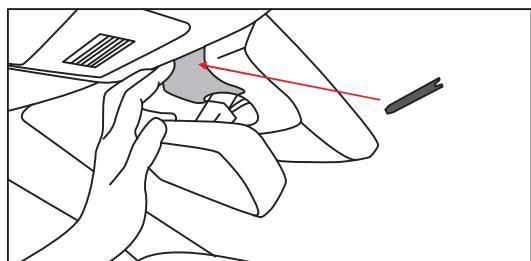


デジタルルームミラー本体の取付

- 純正ルームミラーがねじで固定されている場合は、取り付けねじを外します。

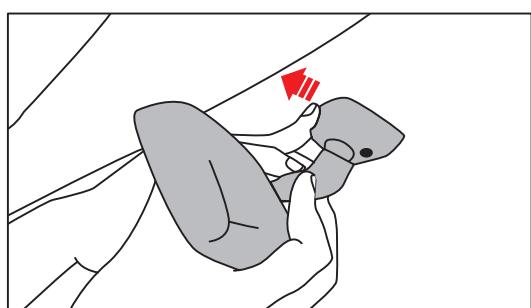


※運転支援機能用センサーなどの装備品が搭載されている場合は、センサー部のカバーを取り外してください。

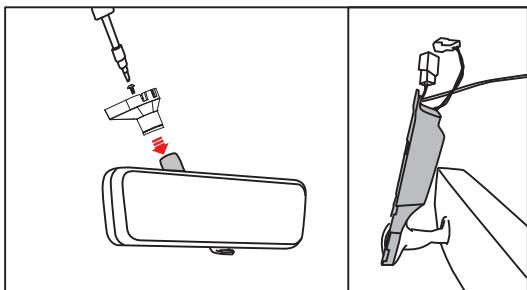


- 純正ルームミラーを上(天井)方向にずらして取り外します。

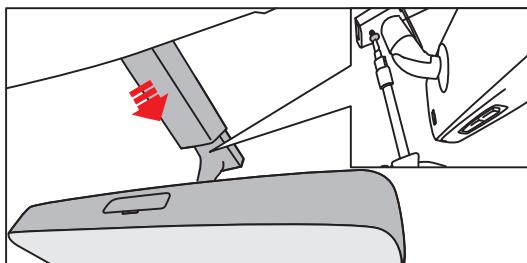
※ツメで固定されている場合は、ツメを下げながら外してください。



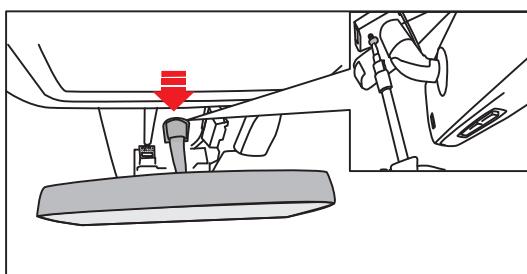
- デジタルルームミラー本体に付属の取付ブラケットを取り付けます。
ケーブルカバーを利用する場合は、カバーを取付ブラケットに取り付けます。



- デジタルルームミラー本体を車両に取り付けます。ねじで固定します。



運転支援機能用カバーなし

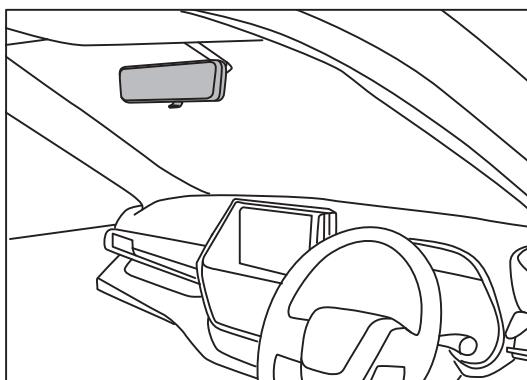


運転支援機能用カバーあり

注意

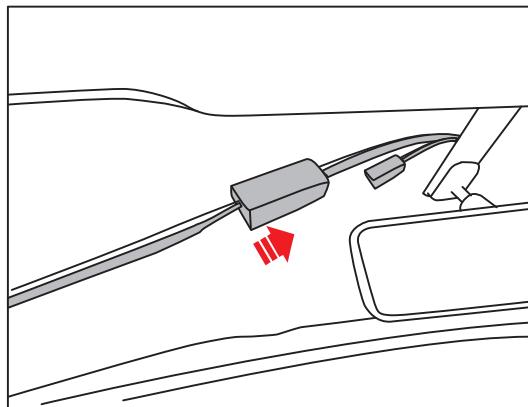
●付属品以外のねじは使わないでください。ネジを締めすぎないようにご注意ください。

- デジタルルームミラー本体の取り付けは以上で終了です。

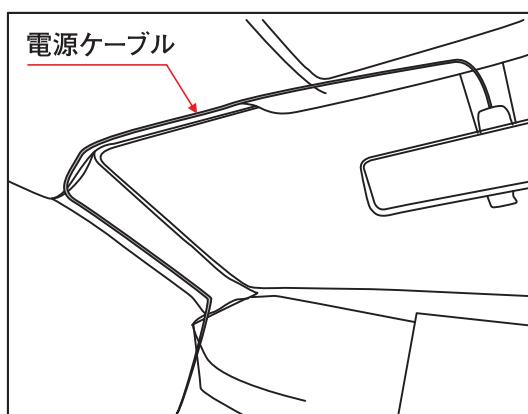


電源ケーブルの取付

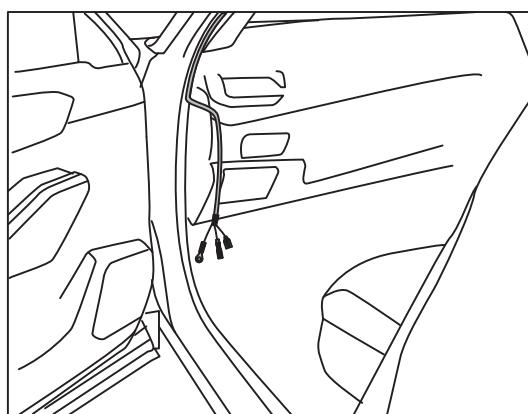
1. 本体の電源のコネクタを電源ケーブルのコネクタにカチッとロックがかかるまで挿入します。



2. 下図のように電源ケーブルをルーフライニング、フロントサイドピラーライニング内を通します。



3. 下図のように電源ケーブルをヒューズボックス側座席の足元まで引き回します。



注意

- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

4. 電源ケーブルの各配線はヒューズボックス、または下記の車両側信号配線に接続します。

●GND(ボディーアース)線:

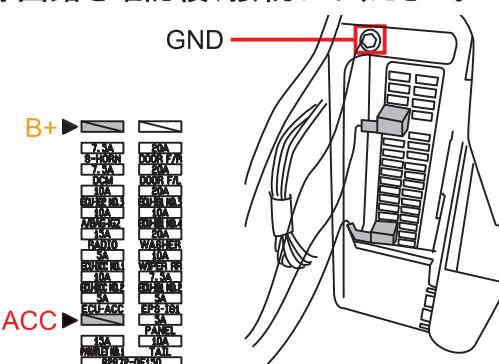
車両金属部分のボルト、ボディーアース配線などに接続します。

●ACC線:

シガーライター配線、オーディオ裏配線から取り出せます。

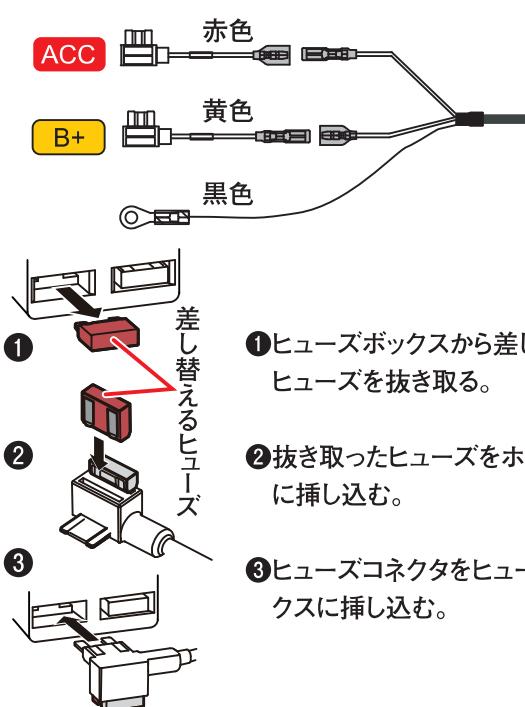
●BAT+線:

テスターで車のエンジンのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路を確認後、接続してください。



アドバイス

GND端子の締付トルク目安
約10±1kgf



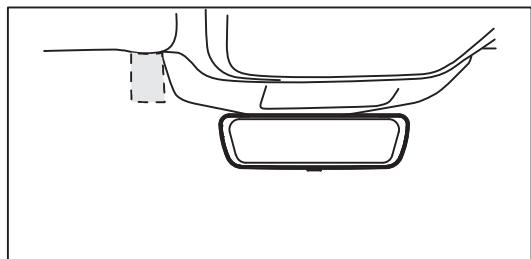
- ①ヒューズボックスから差し替えるヒューズを抜き取る。

- ②抜き取ったヒューズをホルダーに挿し込む。

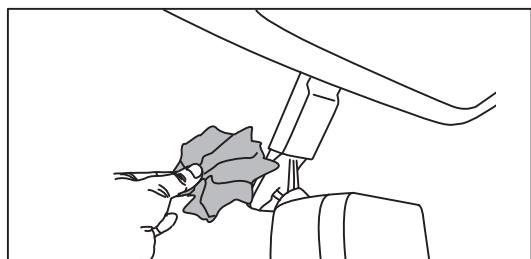
- ③ヒューズコネクタをヒューズボックスに挿し込む。

フロントカメラを取り付ける

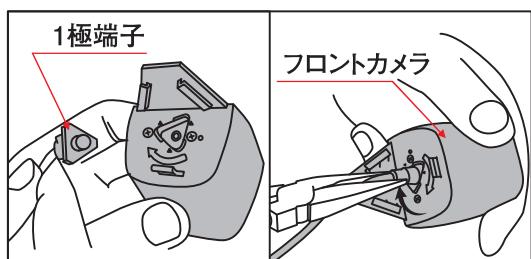
1. 取付概要図(P.7)を参照して、フロントカメラの設置場所を決めます。



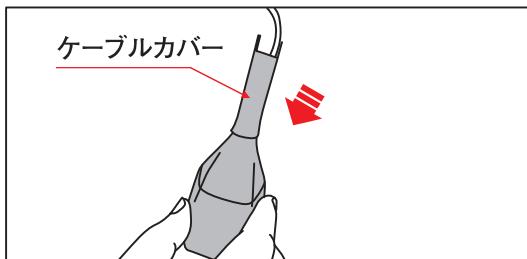
2. 取付面の油分や汚れ、湿気をしっかりと除去します。



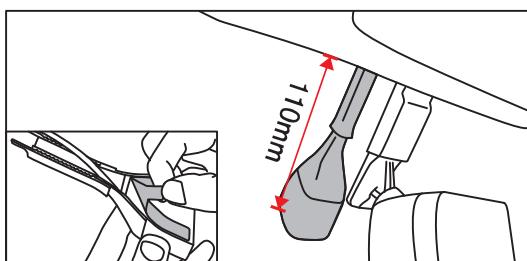
3. フロントカメラ配線の1極端子をフロントカメラ接続コネクタに差し込み、時計回りにして固定します。



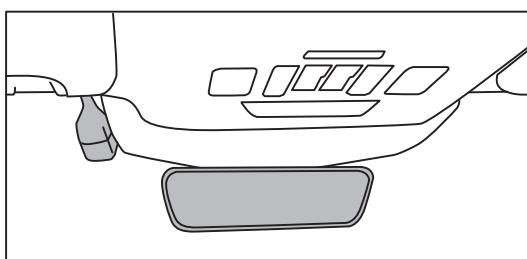
4. ケーブルカバーをフロントカメラに差し込みます。



5. フロントカメラ取付ステー部の両面テープのはく離紙を剥がしフロントガラスに貼ります。

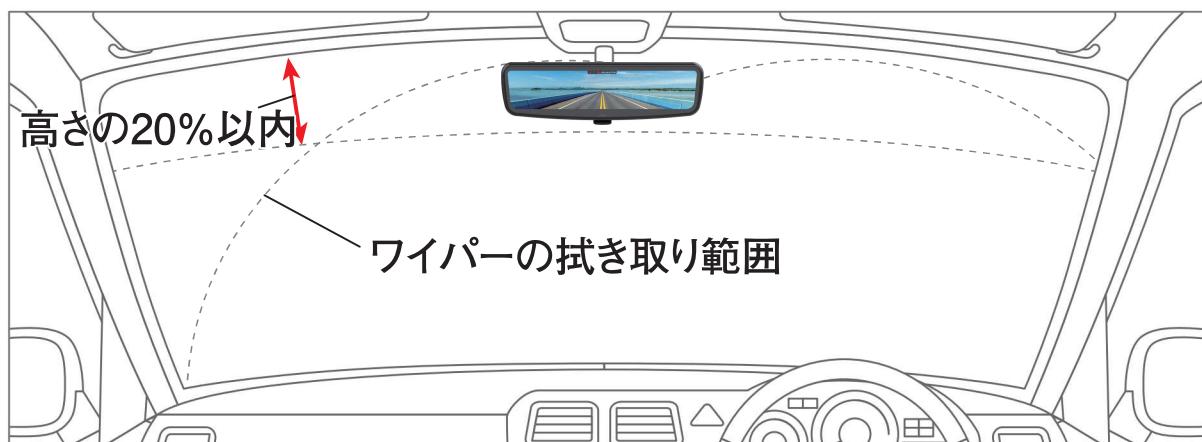


6. フロントカメラの取り付けは以上で終了です。



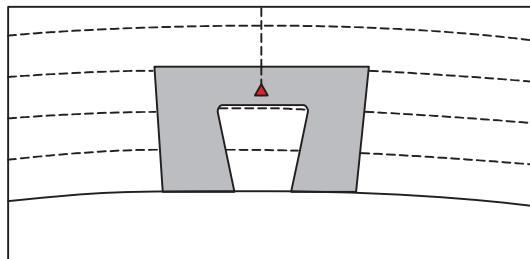
本製品は道路運送車両法・保安基準第 29 条のフロントガラス装着規制対象外です。

注意 但し、設置場所はフロントガラスの開口部上端から下方向に1/5以内の場所に限ります。装着後、運転の邪魔にならないか、ルームミラーの操作の妨げにならないか等、十分に確認してから使用してください。

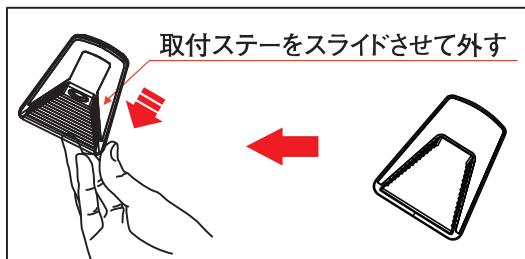


リアカメラを取り付ける(車内)

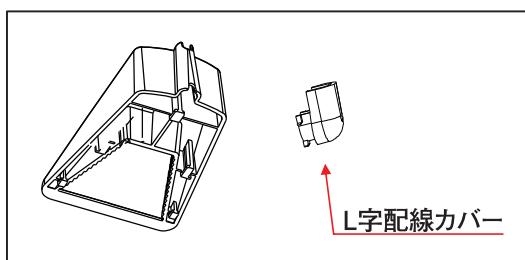
1. 取付概要図(P.7)を参照して、リアカメラの設置場所を決めます。



カメラレンズをできるだけ地面と水平になるような場所を決めてください。
リアウインドウの角度に合わせて、取付ステー(角度別)を交換してください。

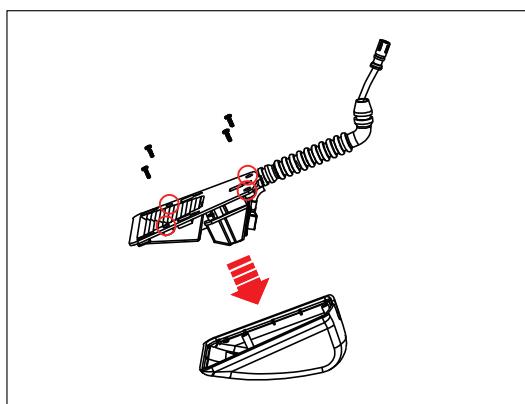


下記の取付ステーを使用する場合は、ブラケットBカバーにL字配線カバーを取り付けてください。

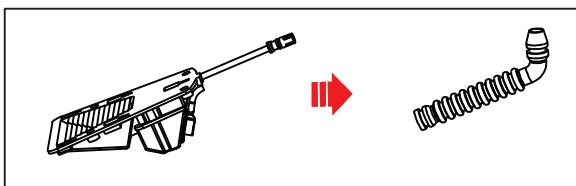


●L字配線カバーの取り付け

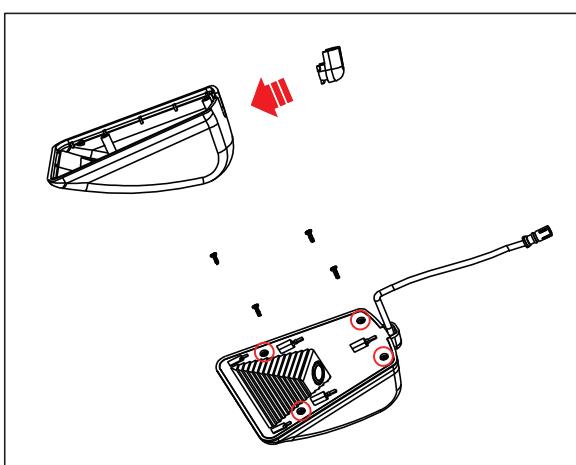
- ① ブラケットBカバーの固定ネジ(4箇所)を外してブラケットBカバーを取り外します。



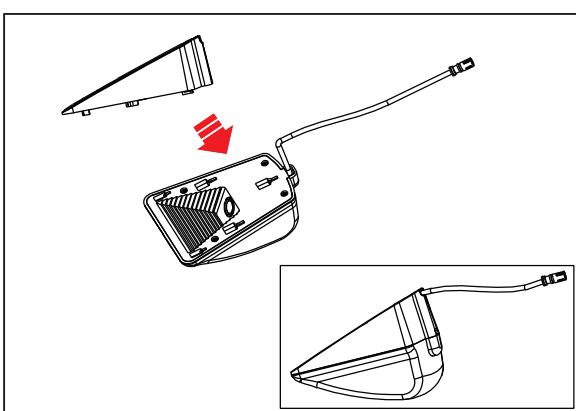
- ② ケーブル側のゴムカバーを取り外します。



- ③ ブラケットBカバーの配線口にL字配線カバーを組み込み、配線用穴からカメラのケーブルを通してください。
ブラケット固定ネジ(4箇所)を締め込みます。



- ④ カメラのケーブルを取付ステーの配線口にゆっくり通してから、取付ステーを取り付けてください。

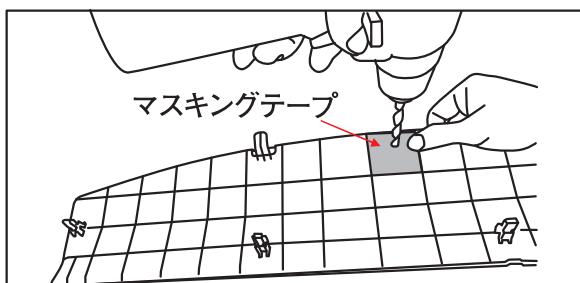
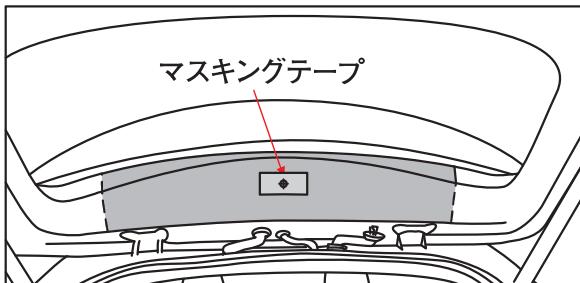


注意

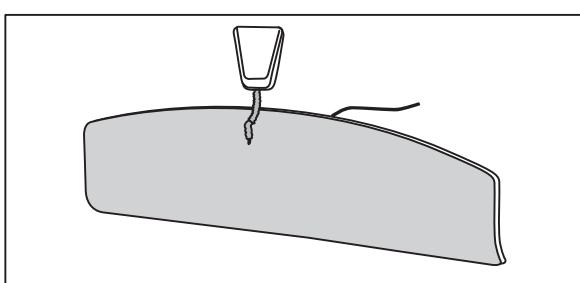
- 安全のため必ず手袋を使用してください。
- 必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- カメラは車幅に対してできるだけ中央付近に取り付けてください。
- 作業中はカメラのレンズを傷つけないようご注意ください。
- ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

リアカメラを取り付ける(車内)

2. 必要に応じ、取り付け部にカメラケーブル配線用の下穴をドリルで開けます。
※加工位置をマスキングテープでマーキングしてから作業を行ってください。



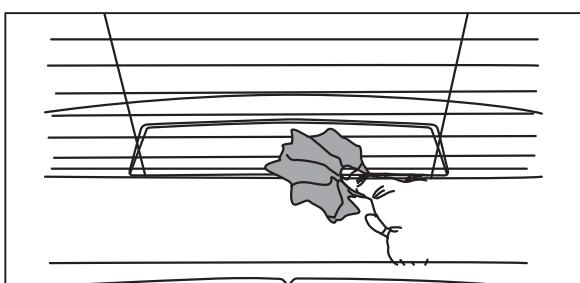
3. カメラのケーブルを配線用穴にゆっくり通してから、市販の防水キャップを取り付けてください。



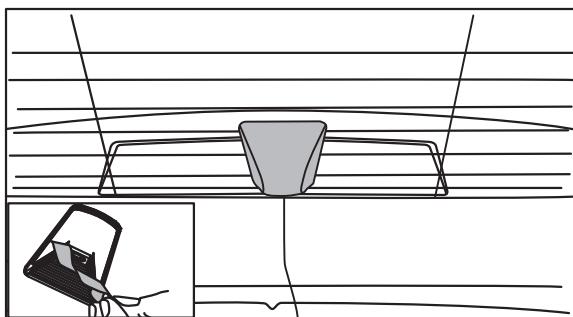
! 注意

- 安全のため必ず手袋を使用してください。
- 作業時は保護メガネを着用してください。
- ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

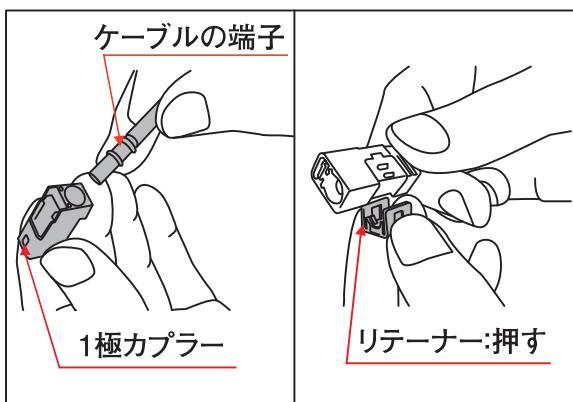
4. 車両側貼付け面の汚れを洗浄し、油脂等を脱脂剤できれいに拭き取ってください。



5. リアカメラ取付ステー部の両面テープのはく離紙を剥がしてから取付面に貼ります。



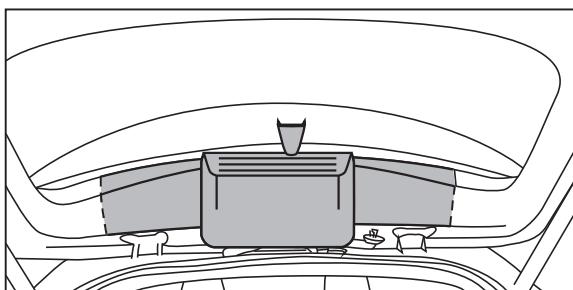
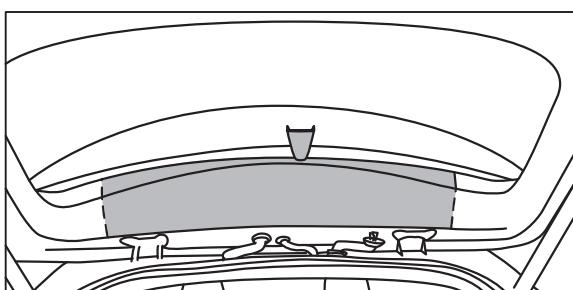
6. カメラ端子を1極カプラーにカチッと音がするまで差し込み、リテナーで固定します。



! 注意

- 無理に力をかけるとカプラーが破損してしまう可能性があります。作業は慎重におこなって下さい。

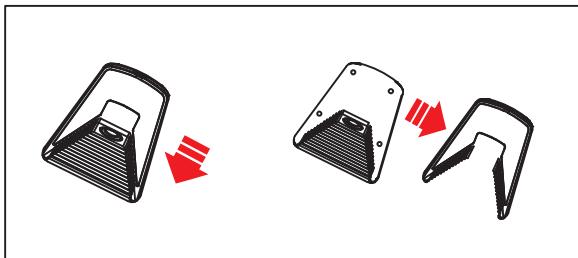
7. リアカメラの取り付けは以上で終了です。



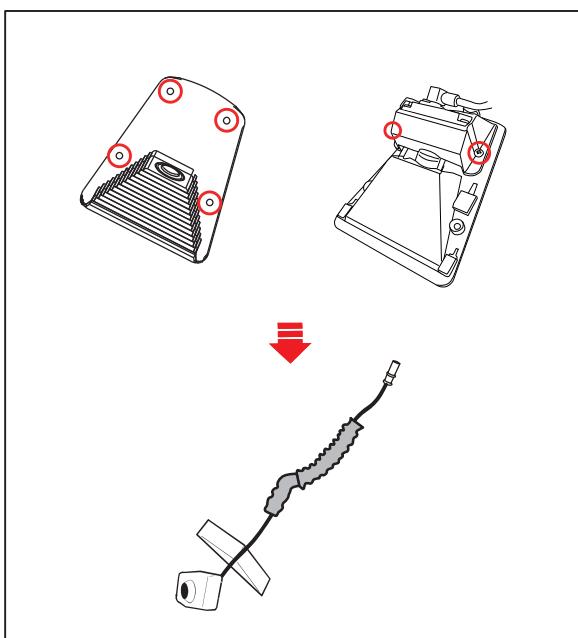
リアカメラを取り付ける(車外)

車外にリアカメラを取付する場合は、必要に応じてカメラブラケットを交換してください。

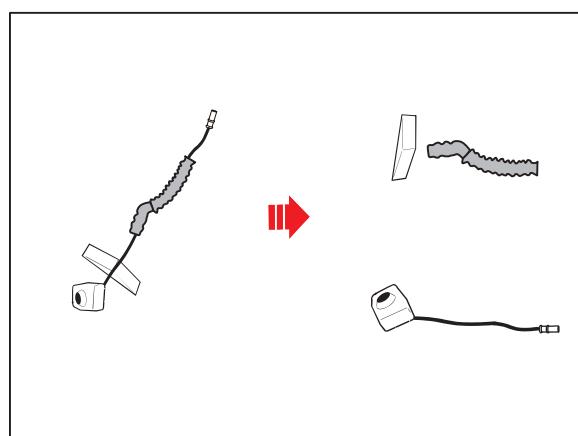
1. リアカメラ(ブラケットB装着済)から取付ステーをスライドさせて外します。



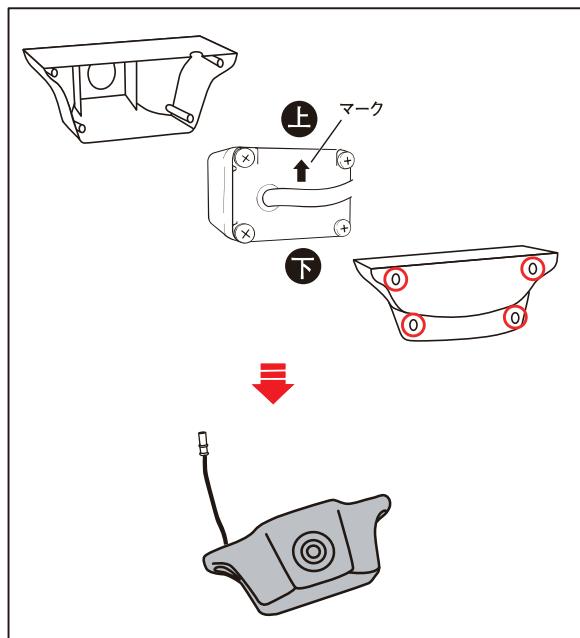
2. ブラケットBカバーの固定ネジ(4箇所)を外し、ブラケットBカバーを取り外します。
リアカメラ固定ネジ(2箇所)を外し、ブラケットからリアカメラ本体を取り外します。



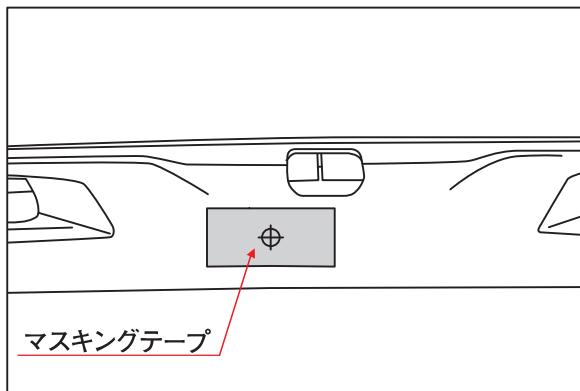
3. 配線側のゴムカバーを取り外します。



4. カメラ本体の「↑」マークが上にくるようにブラケットAに組み込み、ブラケットの配線穴にカメラ配線を通して、ブラケット固定ネジ(4箇所)を締め込みます。



5. 取付概要図(P.7)を参照して、リアカメラの設置場所を決めてください。



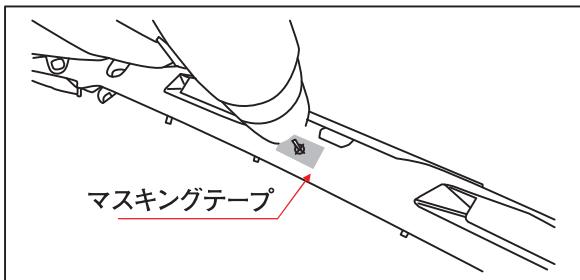
注意

- 車載カメラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公報の「外装の技術基準」に準拠した取り付けが必要となります。取付位置に一部制限が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。あらかじめ仮接続・仮止めして、取り付ける位置を決めてください。貼りなおさないでください。
- 必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。
- カメラは車幅に対してできるだけ中央付近に取り付けてください。

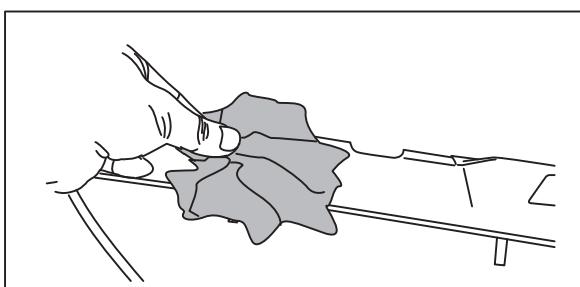
リアカメラを取り付ける(車外)

6. 取付面に穴あけ加工します。

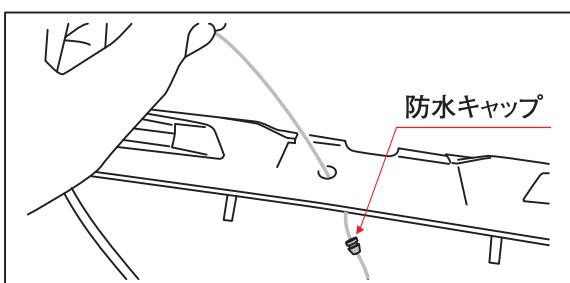
※加工位置をマスキングテープでマーキングしてから作業を行ってください。



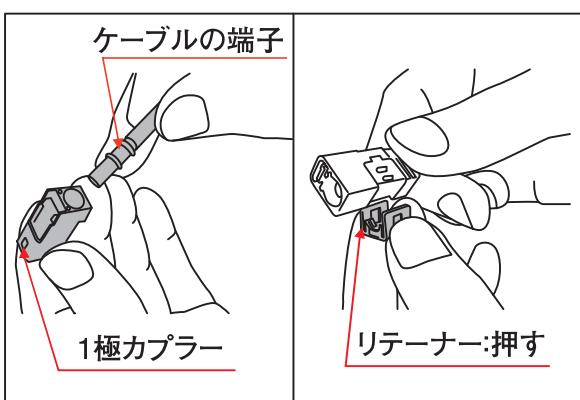
7. マスキングテープを剥がし、取付面の油分や汚れ、湿気をしっかりと除去します。



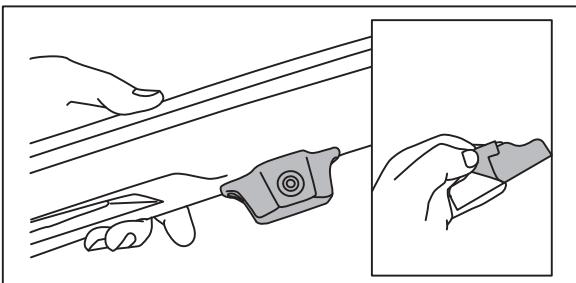
8. リアカメラのケーブルを穴にゆっくり通してから、市販の防水キャップを取り付けてください。



9. カメラ端子を1極力プラーにカチッと音がするまで差し込み、リテナーで固定します。



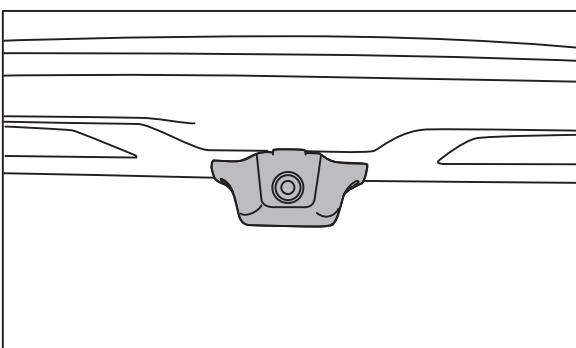
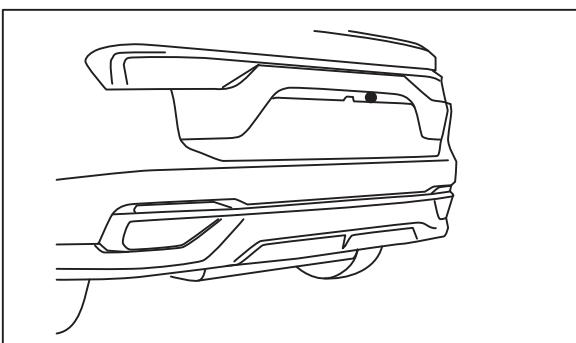
10. リアカメラ取付ステー部の両面テープのはぐり紙を剥がしてから取付面に貼ります。※ねじ止めする場合は、付属のタッピングねじで固定してください。



注意

- 気温が低いとき(20°C以下)は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
- 取り付けたあと、24時間以内は雨に濡らしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。

11. リアカメラの取り付けは以上で終了です。

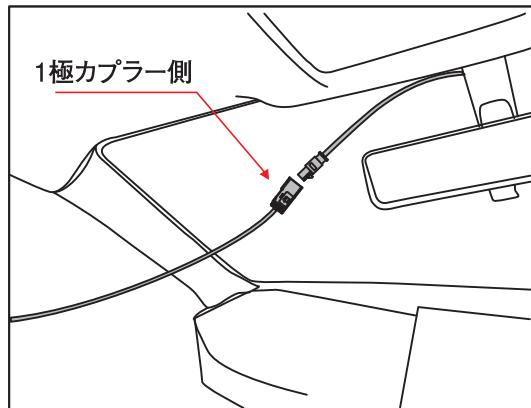


注意

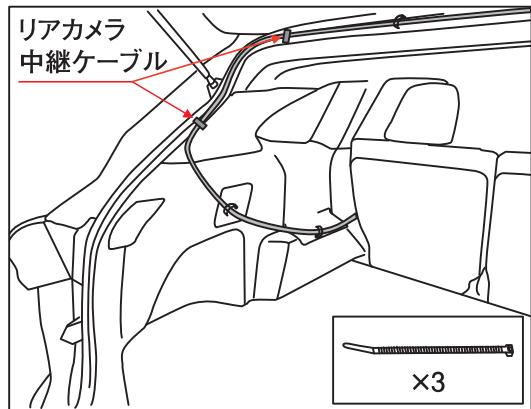
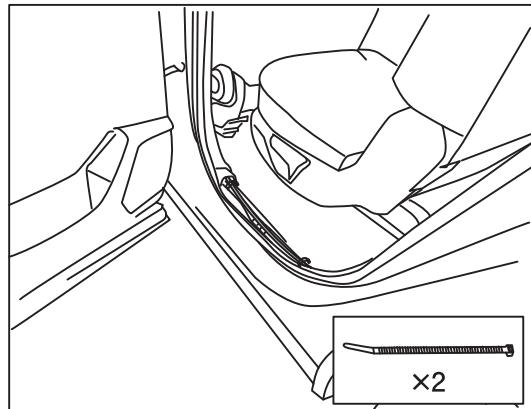
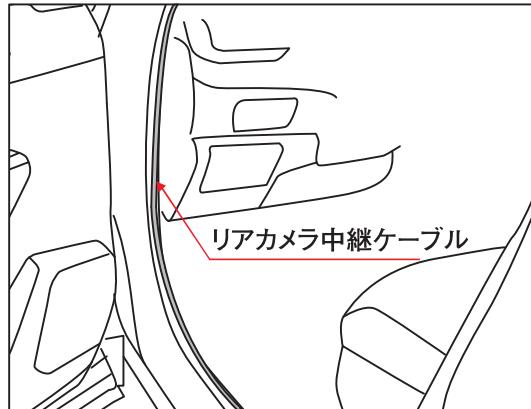
- 作業中はカメラのレンズを傷つけないようご注意ください。
- ネジを締めすぎないようにご注意ください。

リアカメラ中継ケーブルの引き回し例

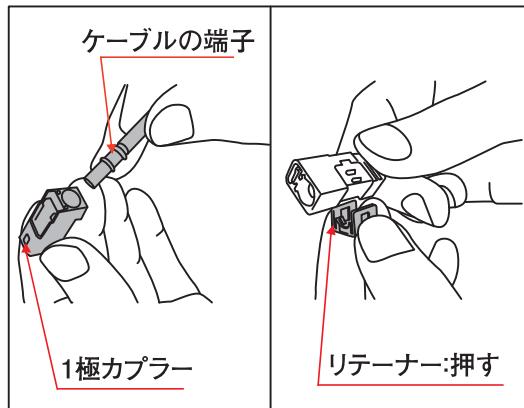
1. リアカメラ中継ケーブルの1極カプラーをデジタルルームミラー側のコネクタに取り付けます。



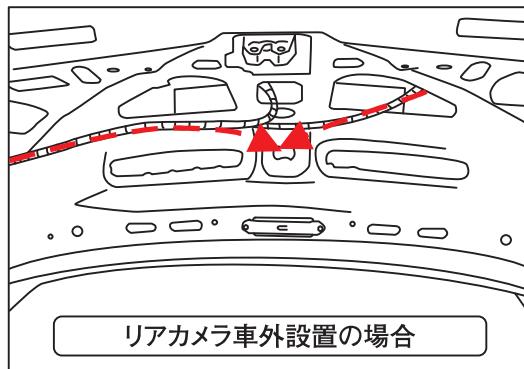
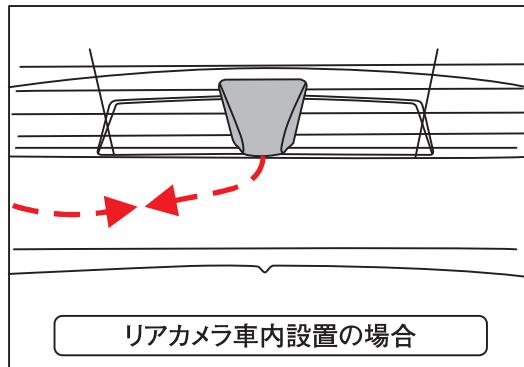
2. 雨水などが浸入しないよう、下図のようにリアカメラ中継ケーブルを配線してください。



3. リアカメラ中継ケーブルの端子を1極カプラーにカチッと音がするまで差し込み、リテナーで固定します。



4. リアカメラ中継ケーブルのカプラーとリアカメラのカプラーを接続します。



5. 各ケーブルを接続してから、クッションを接続部に巻いてください。

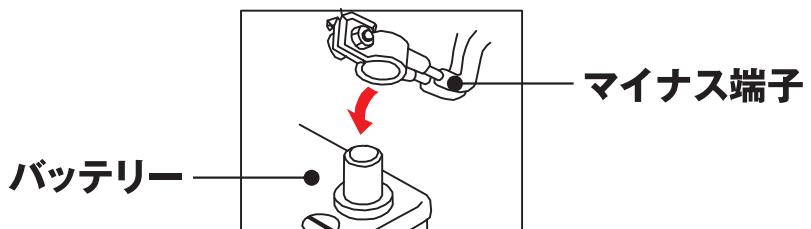
注意

- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。
- 端子を確実に差し込んで下さい。
- 着脱時にはケーブルを引っ張らないでください。
- ケーブルは、改造による延長はしないでください。
画面にノイズが出たり故障の原因となります。
- ケーブルは、高温に上昇する車両の装置に接触しないようにしてください。

取付完了後の確認

■作業の後に

- 1.取り付けた機器や、配線が正しくされているか確認します。
- 2.デジタルルームミラー本体、フロントカメラ、リアカメラがしっかり固定されているか確認します。
- 3.バッテリーのマイナス端子を接続します。



- 4.車のエンジンをかけ、デジタルルームミラー、フロントカメラ、リアカメラが正常に動くことを確認します。

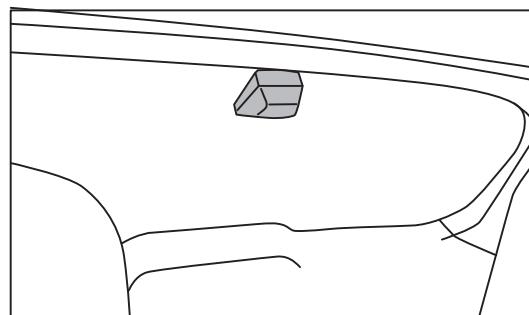
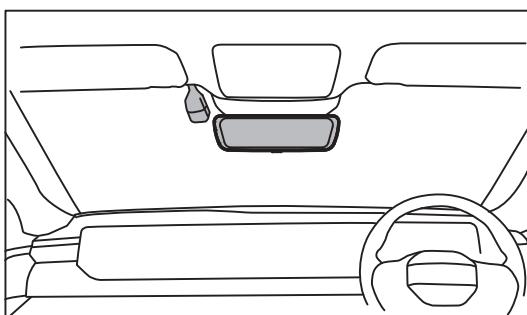
■車両部品の復元

取り外した車両部品を元通りに復元します。

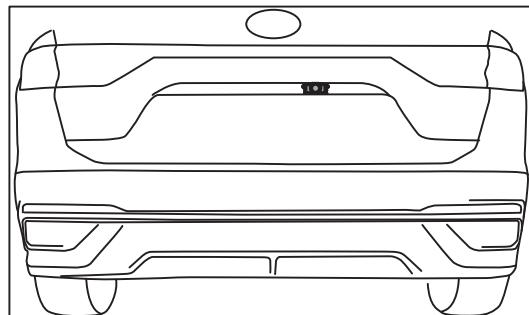
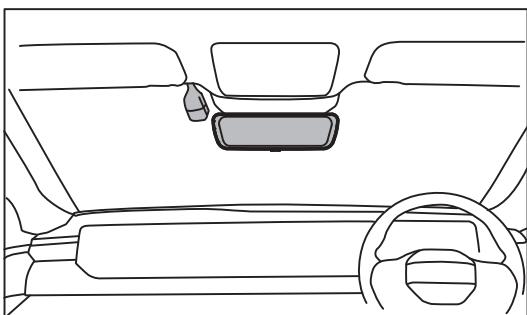
⚠ 注意 ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■取付完成図

リアカメラ車内設置の場合



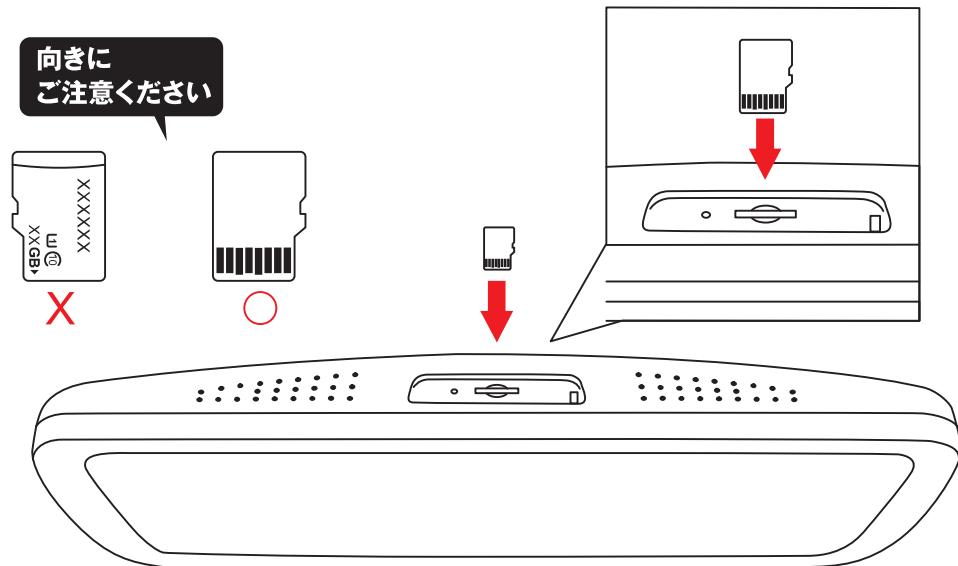
リアカメラ車外設置の場合



microSDカードの取り付け方/取り外し方

■microSDカードを挿入する

microSDスロットのカバーを開けてから、microSDカードの金属端子面がディスプレイ側になるよう、microSDカードスロットに「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。

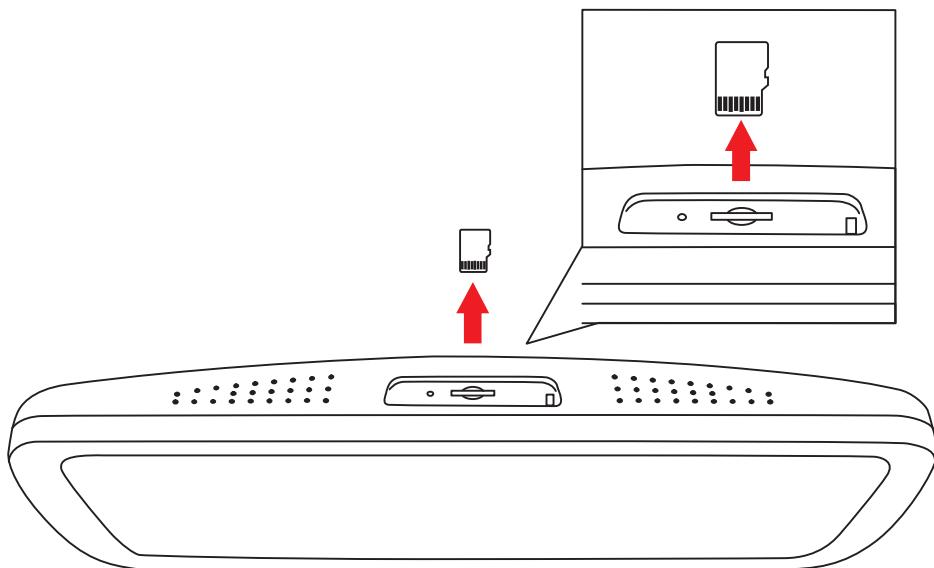


■microSDカードを取り出す

エンジンを停止してから抜いてください。

microSDカードを押してカードが少し飛び出たら引き抜きます。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



※microSDカードはClass10以上、かつFAT32フォーマット、128GBまでのものをご利用ください。

※初回ご利用する際にはmicroSDカードをフォーマットしてください。

※64～128GBのmicroSDカードの場合、挿入時にカードを認識しない表示が出ることがあります。ですが、本体設定にてフォーマットすれば認識されるようになります。

電源のON/OFF

■電源のON

車のエンジンを始動(イグニッションキーをON)にすると、本機の電源がオンになります。

同時に常時録画を開始します。

※システム起動のため数秒かかります。



microSDカードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。
フロントカメラ、リアカメラを接続しないで電源を入れると録画が開始しません。

■電源のOFF

車両のエンジンを停止(イグニッションキーをOFF)すると、自動的に停止します。

同時に常時録画を停止します。



初回起動時のセットアップ

■言語設定(初回起動時)

本機を最初に起動した時に言語設定の画面が表示されます。

表示される項目から、▲アップボタンと▼ダウンボタンで利用したい言語を選択し、⚙設定(OK)ボタンを短押しで決定します。



●操作ボタンについて

本機は設定は、本体下の3つの操作ボタンで行います。

▲…アップボタン

▼…ダウンボタン

⚙…設定ボタン

画像	操作ボタン	操作	機能説明
		短押し(<1S)	各設定項目の選択、数値変更を行います。
		短押し(<1S)	各設定項目の選択、数値変更を行います。
		短押し(<1S)	設定値を確定します。
		長押し(>1.5S)	設定モード画面を終了します。 1つ前の操作画面に移動します。
		長押し(>1.5S)	1つ前の操作画面に移動します。

初回起動時のセットアップ

■microSDカードを初期化する

初回利用時は必ず、[⚙️ (設定ボタン)]→[設定]→[フォーマット]を行ってください。

※P.38「本体設定/フォーマット」を参照してください。



※microSDカード内のデータをすべて削除します。保存しておきたいデータがある場合は、PCに保存してから本操作を行ってください。



●設定モード中に6秒間無操作の状態が続くと、自動的に「デジタルルームミラーモード」に移行します。

ディスプレイ表示

■画面表示



- ✖ : microSD未挿入/エラー
- ▶ : 録音(音声記録)ON
- 🔇 : 録音(音声記録)OFF
- : 録画マーク:点灯は常時録画中
- : 録画マーク:点滅はイベント録画中
- ✖ : 録画停止マーク(SDカード未挿入/カメラ接続エラー)

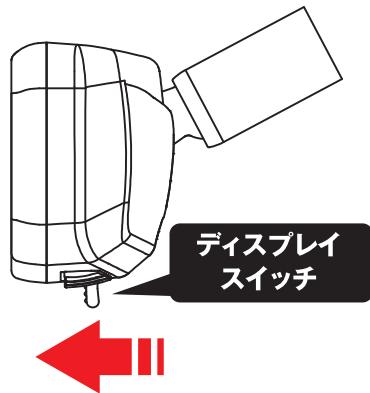
2022-05-30 : 年-月-日

17:10 : 時間(24時間)

ディスプレイ表示

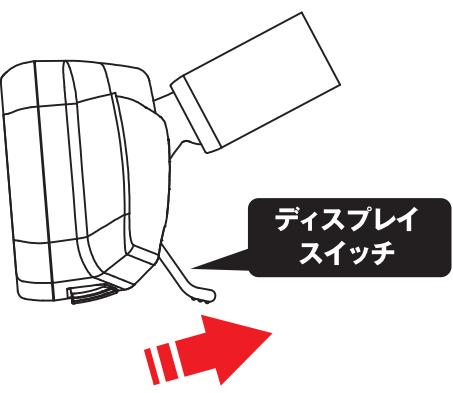
■表示切替

起動後は「デジタルルームミラーモード」になり、リアカメラ映像を画面に表示します。ディスプレイスイッチを操作することで、「デジタルルームミラーモード」と「光学ミラーモード」を切り替えることができます。



デジタルルームミラーモード:

車両後方のカメラ映像を表示します。



光学ミラーモード:

映像が消え、光学ミラーとして使用できます。

※リアカメラ及びリアカメラ中継ケーブルの接続不良、故障や異常な状態では、「リアカメラの接続を確認してください」のメッセージが約9秒間に表示し、その後に画面オフ(光学ミラーモード)になります。



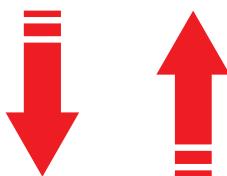
ディスプレイ表示

■カメラ表示切替

「デジタルルームミラーモード」で、▲アップボタンを短押ししてフロントカメラ映像表示/リアカメラ映像の表示に切り替えることができます。



リアカメラ映像表示



フロントカメラ映像表示

ディスプレイ表示

■輝度モード切替

ディスプレイの明るさ設定が「AUTO」以外の場合、「デジタルルームミラーモード」で▽ダウンボタンを短押ししてディスプレイの輝度モードを切り替えることができます。



一般モード：画面の輝度を標準値に設定します。



高輝度モード：画面の輝度を最大値に設定します。



各種設定

■ アングル調整

カメラアングルは段階的に調節できます。

アングル設定範囲: -3/-2/-1/0(初期設定)/+1/+2/+3

◎ 設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。

「アングル調整」を選択し、◎ 設定ボタンを短押しすると、カメラアングルの調整画面が表示されます。

△アップボタンと▽ダウンボタンで表示中のカメラアングルを調整することが出来ます。

設定完了後に◎ 設定ボタンを短押しして保存します。

※表示中のカメラのみ調整できます。フロントカメラとリアカメラのアングル調整は連動しません。



△ アップボタン…上へ(短押し)

▽ ダウンボタン…下へ(短押し)

◎ 設定ボタン…決定(短押し)/戻る(長押し)



注意 リアカメラは表示範囲のみ録画されます。

各種設定

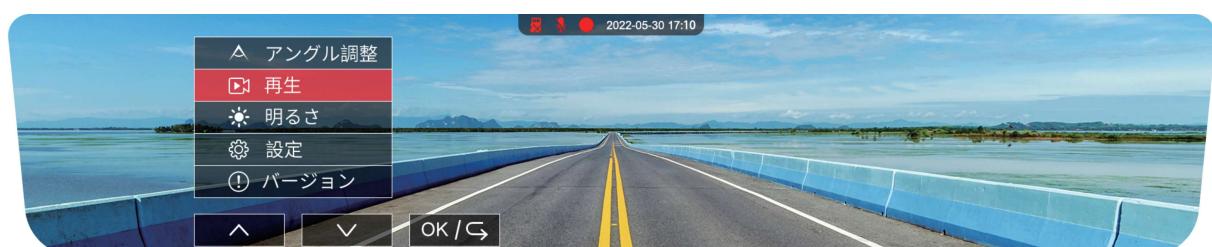
■再生について

設定モード画面→「再生」→「常時録画」または「イベント録画」を選択し、設定ボタンを短押しで再生モード画面に移行します。

ⒶアップボタンとⒷダウンボタンで再生したいファイルを選択し、設定ボタンを短押しで再生が開始します。

再生終了後に、設定ボタンを長押しして設定モード画面に戻ります。

※再生モード画面に移行する同時に常時録画が停止します。再生モード画面を終了すると録画が再開します。



再生モード画面



再生中画面

各種設定

●再生モード画面

現在のファイル/総ファイル数

常時録画

イベント録画

F:フロントカメラ

R:リアカメラ

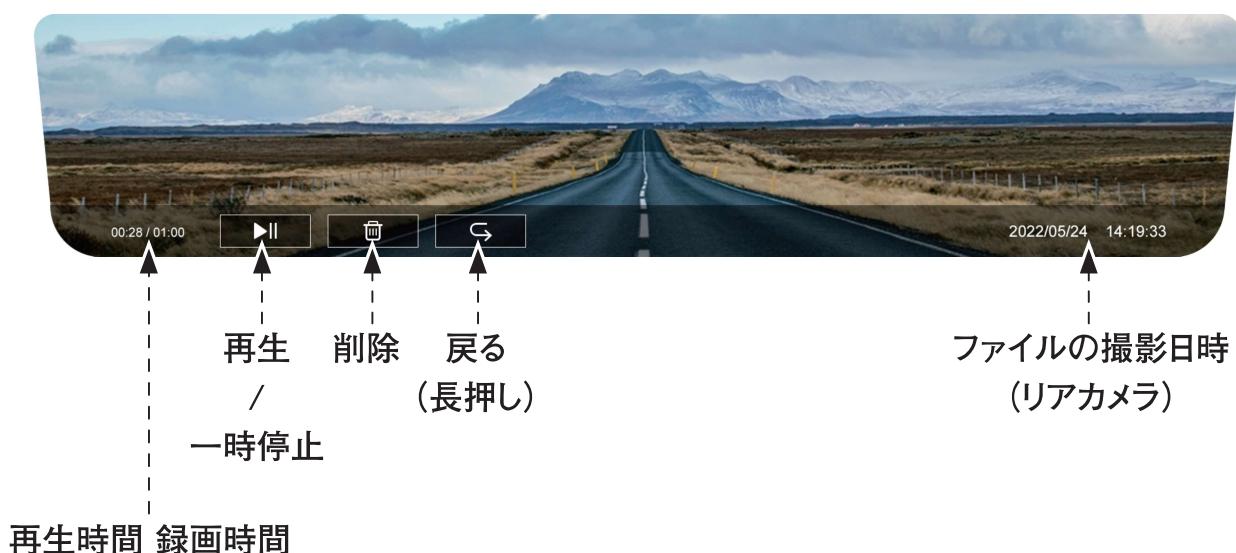
撮影した日時



●再生中画面

再生中に△アップボタンを短押しすると、再生が一時停止します。

一時停止状態でもう一度、△アップボタンを短押しすると再び再生を始めます。



各種設定

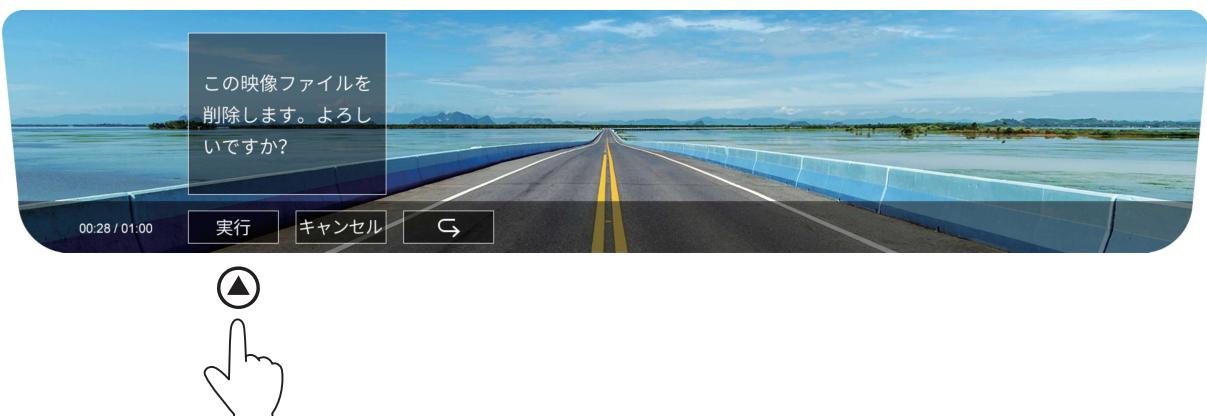
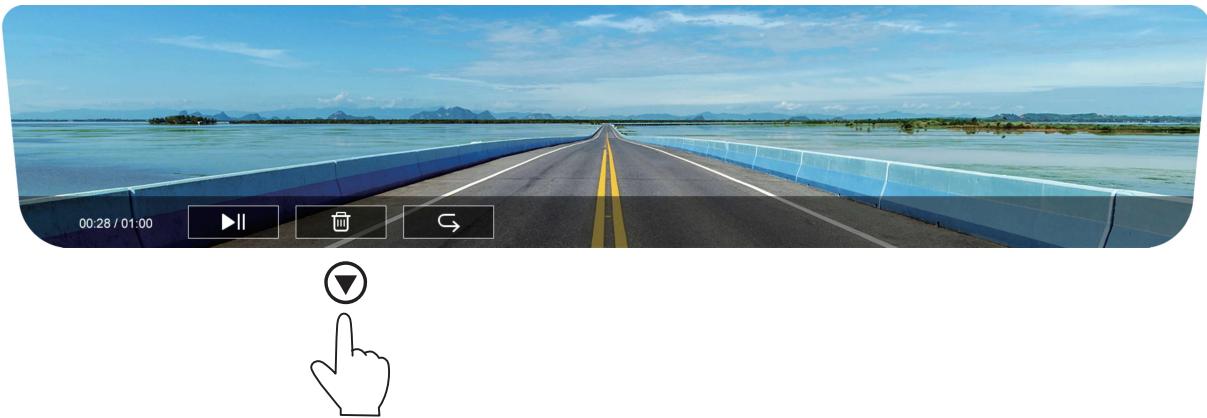
●映像ファイルを削除する

本機の操作で、不要な映像ファイル（常時録画）を削除できます。

1. 削除したい映像ファイルを再生します。



2. 再生中画面にて ◎ダウンボタン [ゴミ箱] を短押しすると、確認メッセージが表示されますので △アップボタン [実行] を押します。



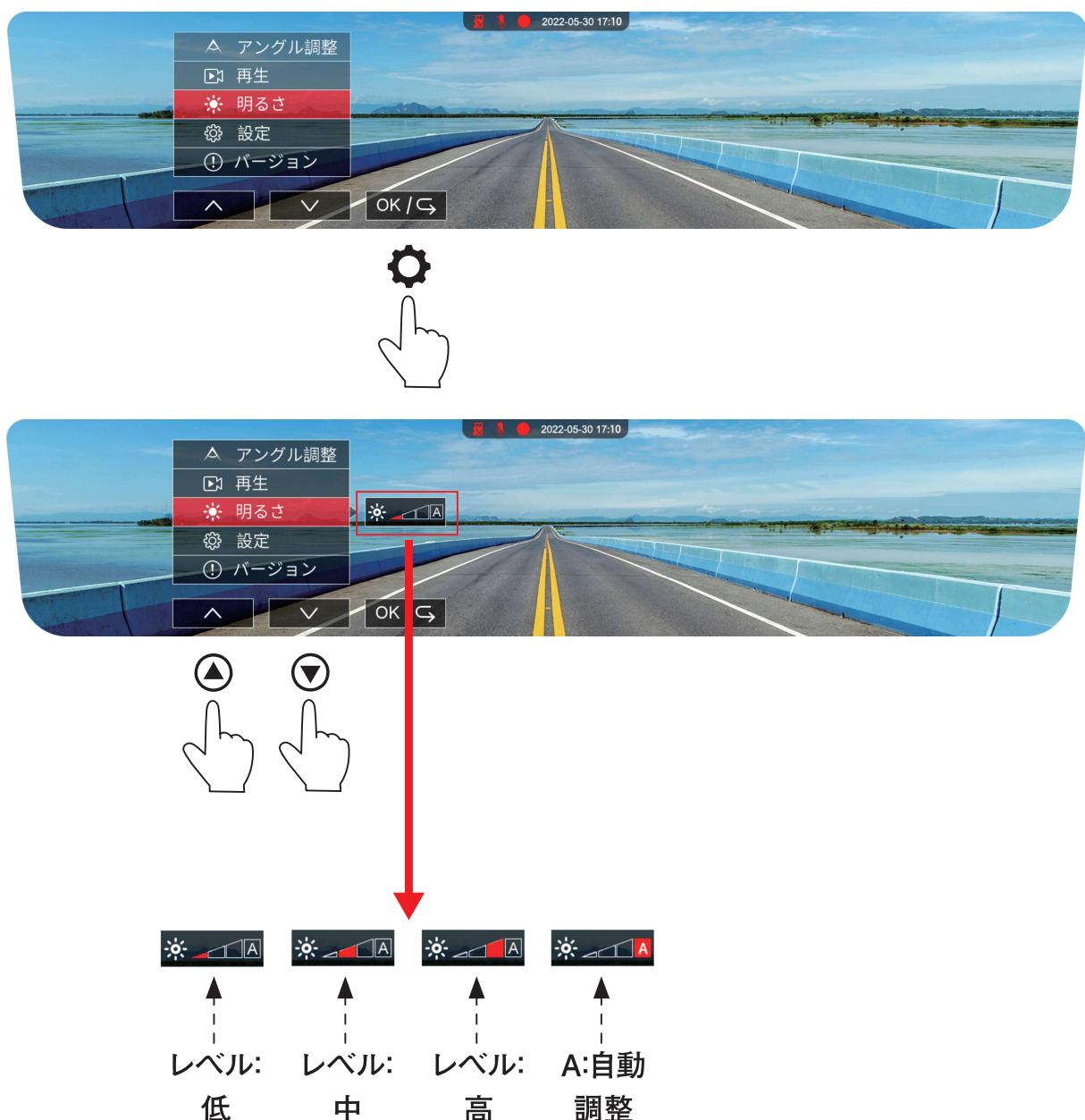
各種設定

■明るさ

- ◎設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。
- 「明るさ」を選択し、◎設定ボタンを短押しすると、明るさ設定画面が表示されます。
- △アップボタンと▽ダウンボタンでディスプレイの明るさレベルを調整することができます。
- 設定完了後に◎設定ボタンを短押しして保存します。

明るさレベル設定範囲：低/中/高/A

※A(AUTO 自動調整)：車内の明るさに連動して画面の明るさを自動で調整します。



各種設定

■駐車監視

- ◎設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。
- 「駐車監視」を選択し、◎設定ボタンを短押しすると、駐車監視機能の設定画面が表示されます。
- △アップボタンと▽ダウンボタンで駐車監視機能のON/OFFを設定することが出来ます。
- 設定完了後に◎設定ボタンを短押しして保存します。



●駐車監視の動作

エンジンを停止し、ACCがオフになってから10秒後、駐車監視モードでGセンサー記録(衝撃を検知して記録)を行います。

駐車監視モード中に本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、駐車イベント録画を開始します。

駐車イベント録画ファイルの録画時間は27秒(検知後27秒)です。

駐車イベント録画が終了すると、再び駐車監視モードを開始します。

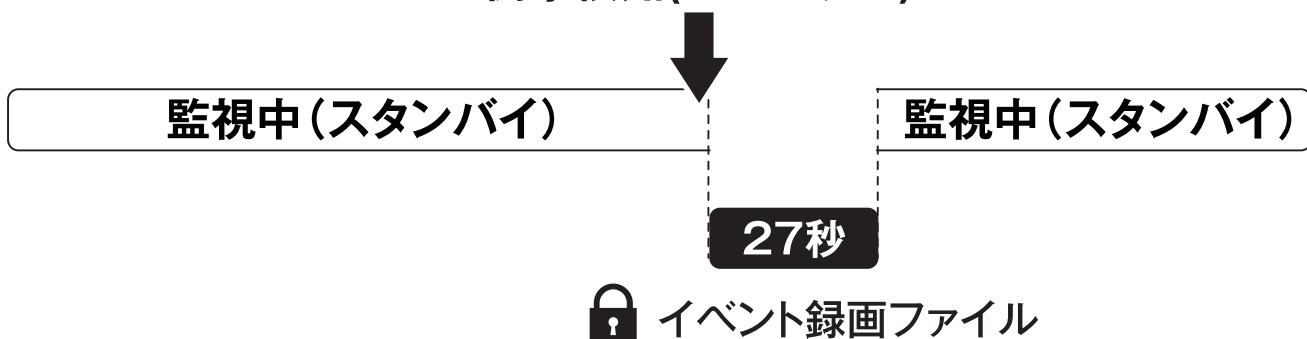
エンジンを始動すると、通常録画モードに戻り、駐車監視モードを解除します。

駐車イベント録画(走行中のイベント録画を含む)の領域はmicroSDカード全体の40%として設定されています。

イベント録画の録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に消去し、新しい映像をイベント録画(上書き)します。

データが必要な場合は、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを停止して、microSDカードを抜いて、パソコンに保存するなどの対応をお願いします。

衝撃検知(Gセンサー)



各種設定

●低電圧ブロックについて

車両のバッテリー上がりを防ぐための機能です。

監視中にバッテリーの電圧が11.7V※より下がったとき本機の電源をオフにします。

※使用環境や車両の状態によって、設定電圧値は±2%程度の誤差が生じます。

●画面表示について

駐車監視の設定を「ON」にすると、エンジン停止時に下記のメッセージが表示されます。



エンジン停止時(ACC OFF)

駐車監視モードの動作中にイベントが発生した場合、エンジンをオンにし、本機の電源がオンになります。下記のメッセージが表示されます。

※駐車イベント録画が発生した初回の起動時のみおしらせします。



エンジン始動時(ACC ON)

各種設定

■ループ録画

ループ録画の設定により、常時録画は1分間/2分間/3分間の単位で録画します。

常時録画の録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に消去し、新しい映像を録画(上書き)します。

データが必要な場合は、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを停止して、microSDカードを抜いて、パソコンに保存するなどの対応をお願いします。

◎設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。

「設定」→「ループ録画」を選択し、◎設定ボタンを短押しすると、ループ録画の設定画面が表示されます。

△アップボタンと▽ダウンボタンでループ録画の録画時間を設定することが出来ます。

設定完了後に◎設定ボタンを短押しして保存します。



常時録画の領域はmicroSDカード全体の60%として設定されています。

microSDカード
全体(容量)の60%



ループ録画設定: 1分



ループ録画設定: 2分



ループ録画設定: 3分

各種設定

■Gセンサー

イベント録画と駐車イベント録画(駐車監視)動作時の、車両への衝撃を検知する感度を設定します。

✿設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。

「設定」→「Gセンサー」を選択し、✿設定ボタンを短押しすると、Gセンサー感度の設定画面が表示されます。

△アップボタンと▽ダウンボタンでイベント録画のON(感度:低/中/高)/OFFを設定することができます。

設定完了後に✿設定ボタンを短押しして保存します。



●イベント録画について

走行中にGセンサーが衝撃を検知すると、衝撃検知した時の映像ファイル(+衝撃後30秒)をイベント録画ファイルとして保存します。

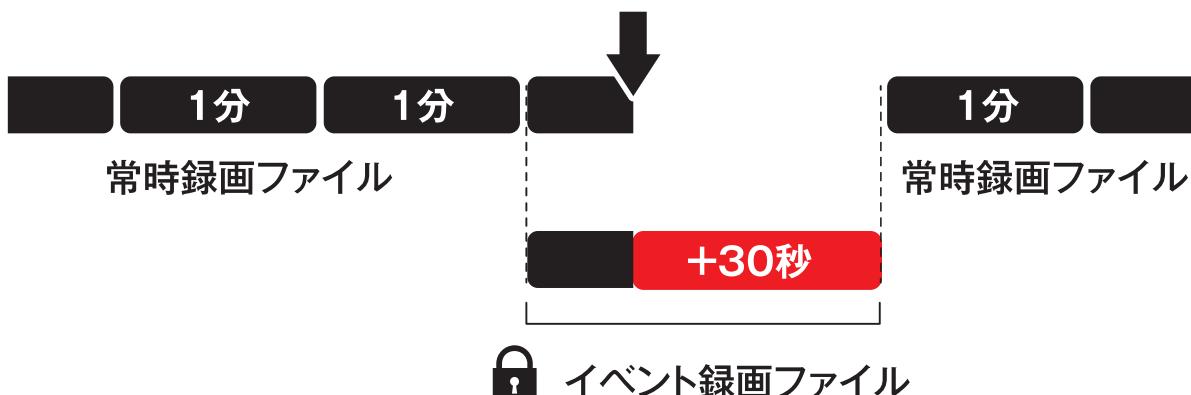
イベント録画が終了すると、常時録画が開始します。

走行中のイベント録画(駐車イベント録画を含む)の領域はmicroSDカード全体の40%として設定されています。

イベント録画の録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に消去し、新しい映像をイベント録画(上書き)します。

データが必要な場合は、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを停止して、microSDカードを抜いて、パソコンに保存するなどの対応をお願いします。

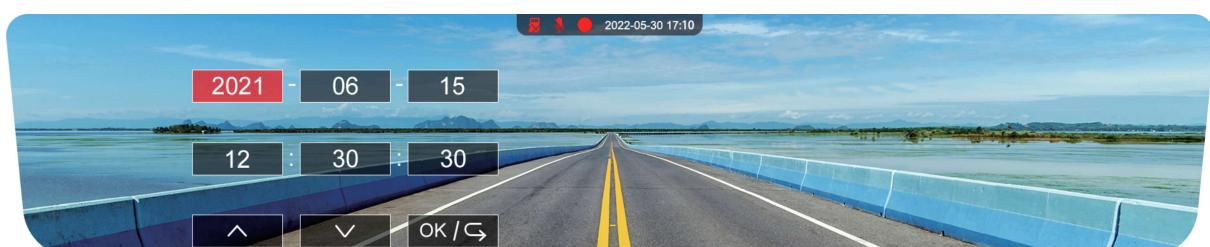
衝撃検知(Gセンサー)



各種設定

■日時設定

- ◎設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。
- 「設定」→「日時設定」を選択し、◎設定ボタンを短押しすると、画面表示と映像に記録する日時の設定画面が表示されます。
- △アップボタンと▽ダウンボタンで日時を設定することが出来ます。
- 設定完了後に◎設定ボタンを短押しして保存します。



■言語

- ◎設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。
- 「設定」→「言語」を選択し、◎設定ボタンを短押しすると、システムの言語設定画面が表示されます。
- △アップボタンと▽ダウンボタンで使用したい言語を選択することができます。
- 設定完了後に◎設定ボタンを短押しして保存します。



各種設定

■録音

◎設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。

「設定」→「録音」を選択し、◎設定ボタンを短押しすると、音声記録の設定画面が表示されます。

△アップボタンと▽ダウンボタンで映像と共に音声記録をする/しないの設定が出来ます。

設定完了後に◎設定ボタンを短押しして保存します。



■フォーマット

microSDカード内の映像をすべて削除します。保存しておきたい映像がある場合は、PCに保存してから本操作を行ってください。

◎設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。

「設定」→「フォーマット」を選択し、◎設定ボタンを短押しすると、確認メッセージが表示されます。ので、実行する場合は、△アップボタンを押します。



各種設定

■設定初期化

全ての設定項目を工場出荷時の設定に戻します。

◎設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。

「設定」→「設定初期化」を選択し、◎設定ボタンを短押しすると、確認メッセージが表示されますので、実行する場合は、Ⓐアップボタンを押します。



■バージョン

本機のファームウェアのバージョンを表示します。

◎設定ボタンを短押しすると、設定モード画面が表示されます。

「設定」→「バージョン」を選択し、◎設定ボタンを短押しすると、ファームウェアのバージョンが表示されます。

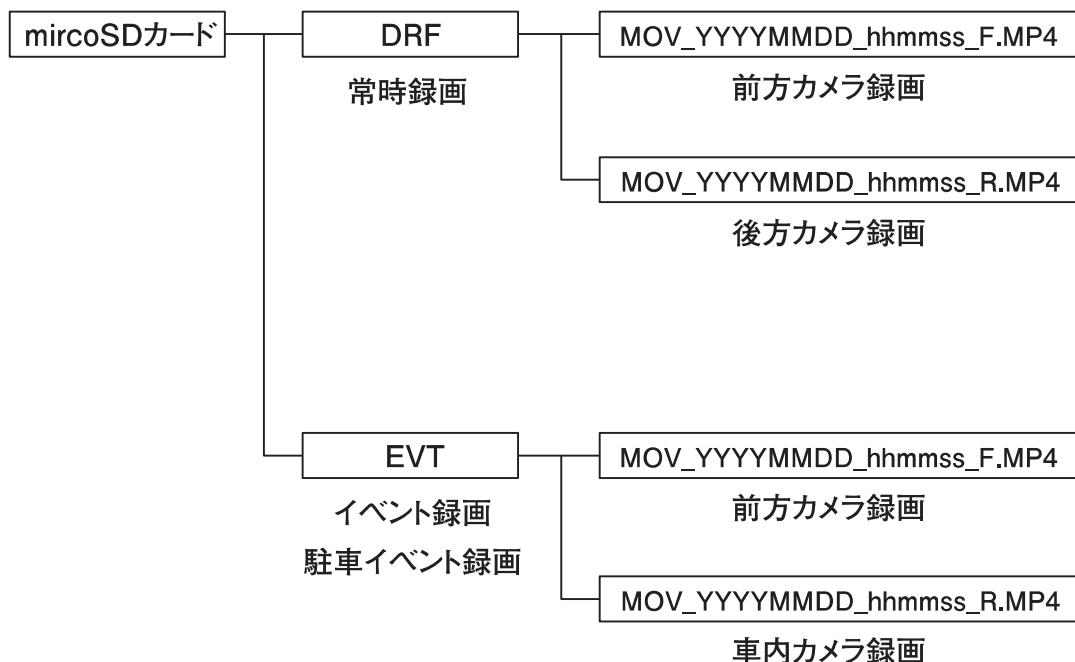


パソコンで再生する

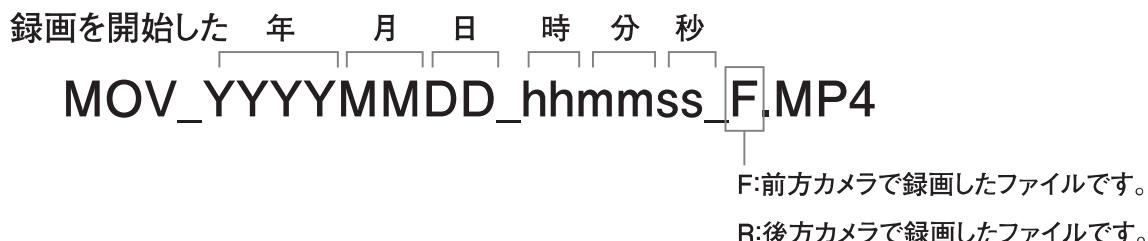
■フォルダ/ファイル構成

microsdカードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

●フォルダ構成

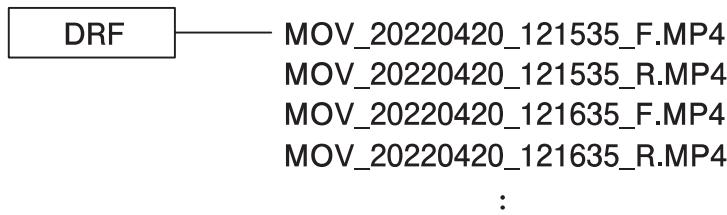


●ファイル名称は以下の内容で保存されます



※年月日時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。

例) 2022/04/20 12:15:35に常時録画を開始したファイル名:



※必ずエンジンを停止してから、microSDカードを抜き取ってご利用ください。

※パソコンの動画再生ソフトで再生してください。音声が出ない場合は他の動画再生ソフトを使用するかパソコンや動画ソフトの設定、コーデックなど確認してください。

よくある質問

■故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。
解決方法を見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

ご質問	回答
電源が入らない	ヒューズが入っていないか断線しています。 ヒューズを入れるか原因を確かめてからヒューズを交換してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
LED信号機のライトが確認できない	映像の記録周期とLED信号機の周期によって、一瞬信号機のライトが消えて見えることがあります。 信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
頻繁に衝撃録画を行う	Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感じています。 感度を低く設定してください。(高→低)
時計がズれている	期間を開けて使用する場合は日時表示がリセットされることがあります。 日時を手動で設定し直してください。
画面がフリーズする	microSDカードの書き込みエラーが発生し、本体システムに異常が発生した可能性があります。microSDカードを交換してください。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

製品仕様

モニター	9.2インチ(1920×384 pixels)
使用温度範囲	-30°C~+80°C
録画解像度	フロントカメラ1920*1080、リアカメラ1920*384
フレームレート	フロントカメラ27.5fps、リアカメラ60fps
画角	フロントカメラH.FOV120°、リアカメラH.FOV68°
防水仕様	リアカメラIP67
録画モード	ループ録画(1分/2分/3分)
記録方式	常時録画/イベント録画/駐車監視録画(イベント録画)
動画ファイル形式	.MP4
メモリカード	microSDカード(最大128GB Class10必須)
電源	電圧:DC 10V~16V、電流:<1.4A

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧・周波数)などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉 様	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

MAXWIN
昌騰有限会社

商品についてのお問合せは
購入された販売店または

support@maxwin.jp
へお問い合わせください。

MAXWIN